

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-103	高等学校	国語	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	国総 363 国総 364	新 探求国語総合 現代文・表現編 新 探求国語総合 古典編		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、高等学校学習指導要領「国語総合」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と国語総合の目標の両方の目標の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、表現力と理解力を育成しつつ国語力を高められるよう、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

## 2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、以下の点を編修の基本方針とした。

### ①指導しやすい2分冊形態と単元構成

多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう「現代文・表現編」「古典編」の2分冊とし、さらに「現代文・表現編」は「現代文編」「表現編」、「古典編」は「古文編」「漢文編」の2部構成とした。「現代文編」「古文編」「漢文編」はジャンル別単元とした。

### ②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」を設け、学習の指針となるようにした。

### ③教材の理解と言語の学習

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を必ず設けた。また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の学習に資するため、「現代文編」では知っておきたい重要語句や慣用句を各教材の本文下段にまとめたほか、「新出漢字の整理」として、教育漢字を除いた初出の常用漢字とその用例を掲げた。「古文編」では重要古語を、「漢文編」では基本句形を、各教材の本文下段にまとめた。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
●現代文編 「評論」5単元 (10教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、「評論」5単元を設け、多彩な内容を持つ10教材を配した(第1号)。 ②生命を考える教材「サイボーグとクローン人間」を配した(第4号)。 ③環境を考える教材「経済の論理／環境の倫理」を配した(第4号)。 ④個人と社会の関係を考える教材「遅れてきた『私』」を配した(第3号)。 ⑤思想の形成や社会の形成を考える教材「思想の出自」を配した(第3号)。	①「現代文・表現編」 ・44～57頁 ・79～93頁 ・138～153頁 ・171～185頁 ・214～232頁 ②「現代文・表現編」 ・44～49頁 ③「現代文・表現編」 ・88～93頁 ④「現代文・表現編」 ・138～145頁 ⑤「現代文・表現編」

		・ 171～177 頁
●現代文編 「評論解析」2 単元 (8 教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、「評論解析」2 単元を設け、多彩な内容を持つ 8 教材を配した (第 1 号)。 ②デザインと人間の営みの関係について考える教材「マヨネーズの穴から」を配した (第 2 号)。 ③グローバル化を考える教材「グローバル化と『文脈』」を配した (第 5 号)。 ④文化を考える教材「アラビア語を学ぶ」を配した (第 5 号)。	①「現代文・表現編」 ・ 58～65 頁 ・ 154～161 頁 ②「現代文・表現編」 ・ 58～59 頁 ③「現代文・表現編」 ・ 154～155 頁 ④「現代文・表現編」 ・ 160～161 頁
●現代文編 「随想」2 単元 (4 教材)	①自主および自律の精神を養い、人生や職業について考えを深められるよう、「随想」2 単元を設け、多彩な内容を持つ 4 教材を配した (第 2 号)。 ②平和を考える教材「アリュージョン、老兵の夢と闇」を配した (第 5 号)。	①「現代文・表現編」 ・ 6～19 頁 ・ 117～137 頁 ②「現代文・表現編」 ・ 117～129 頁
●現代文編 「小説」3 単元 (6 教材)	①正義と責任、自己と他者との関係について考えを深められるよう、「小説」3 単元を設け、多彩な内容を持つ 6 教材を配した (第 3 号)。	①「現代文・表現編」 ・ 20～43 頁 ・ 94～116 頁 ・ 186～213 頁
●現代文編 「詩」「短歌と俳句」 単元	①幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培えるよう、「詩」「短歌と俳句」単元を設け、多彩な表現に触れられる教材を多数配した (第 1 号)。 ②平和を考える教材「崖」を配した (第 5 号)。	①「現代文・表現編」 ・ 66～78 頁 ・ 162～170 頁 ②「現代文・表現編」 ・ 68～69 頁
●表現編 (10 項目)	①創造性を培い、自主および自律の精神を養えるよう、表現編に、実用的な表現能力を高めるための 9 項目を設けた (第 2 号)。	①「現代文・表現編」 ・ 234～266 頁
●古文編 古文編導入文	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古文編導入文として「古典と文化・古文と古語」を設けた (第 5 号)。	①「古典編」 ・ 8～9 頁
●古文編 5 単元 (28 教材)	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、古文編に 5 単元を設け、古文の多彩な表現に触れられる 28 教材を配した (第 5 号)。	①「古典編」 ・ 10～106 頁
●古文編 「文法の基礎」1～3 「文法の要点」1～4	①伝統と文化を尊重する態度を養い、文語の決まりや言葉の成り立ち、表現の特色などへの理解を深められるよう、古文編に「文法の基礎」1～3 および「文法の要点」1～4 を設けた (第 5 号)。	①「古典編」 ・ 13～15 頁 ・ 20～21 頁 ・ 26 頁 ・ 107～114 頁
●古文編 犬養孝「言霊」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古文を現代からの視点で読み解く教材「言霊」を配した (第 5 号)。	①「古典編」 ・ 86～91 頁

●漢文編 漢文編導入文	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、漢文編導入文として「漢文を学習するということ」を設けた（第5号）。	①「古典編」 ・116頁
●漢文編 4単元（30教材）	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、漢文編に4単元を設け、漢文の多彩な表現に触れられる30教材を配した（第5号）。	①「古典編」 ・117～178頁
●漢文編 「漢文の基礎」 「漢文の要点」1・2	①伝統と文化を尊重する態度を養い、訓読の決まりや言葉の成り立ち、表現の特色などへの理解を深められるよう、漢文編に「漢文の基礎」および「漢文の要点」1・2を設けた（第5号）。	①「古典編」 ・117～125頁 ・180～183頁
●漢文編 松浦友久「友情」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、漢文を現代からの視点で読み解く教材「友情」を配した（第5号）。	①「古典編」 ・166～171頁

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

一般的な教養を高めるとともに、専門的な知見に触れられるよう、「現代文・表現編」に「小説コラム1」「小説コラム2」、「古典編」に「コラム（1～9）」を設けた。  
（「現代文・表現編」33頁、205頁  
「古典編」27頁、46～47頁、51頁、58頁、74～75頁、100～101頁、137頁、151頁、179頁）

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-103	高等学校	国語	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	国総 363 国総 364	新 探求国語総合 現代文・表現編 新 探求国語総合 古典編		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、本文の学習をより深め、補佐するための資料として、巻末に「付録」を設けた。

## 2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>●現代文編</b> ①「評論」5単元 (10教材) ②「評論解析」2単元 (8教材) ③「随想」2単元 (4教材) ④「小説」3単元 (6教材) ⑤「詩」単元 ⑥「短歌と俳句」単元	<b>●「B 書くこと」</b> (1)のエ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 <b>●「C 読むこと」</b> (1)のア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 (1)のイ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 (1)のウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 (1)のエ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 (1)のオ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。 <b>●【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</b> (1)のイの(ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (1)のイの(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 (1)のウの(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	「詩」単元 ・66～78頁 「短歌と俳句」単元 ・162～170頁 「詩」単元 ・66～78頁 「短歌と俳句」単元 ・162～170頁 現代文編の各教材 ・6～232頁 「小説」単元 ・20～43頁 ・94～116頁 ・186～213頁 「詩」単元 ・66～78頁 「短歌と俳句」単元 ・162～170頁 「随想」単元 ・6～19頁 ・117～137頁 「評論」単元 ・44～57頁 ・79～93頁 ・138～153頁 ・171～185頁 ・214～232頁 現代文編の各教材 ・6～223頁 「言葉の力」 ・79～87頁 現代文編の各教材 ・6～232頁 各教材における「新出漢字の整理」 ・6～232頁 付録の「常用漢字表」 ・267～278頁	①「評論」5単元 20時間 (10教材×2時間) ②「評論解析」 2単元8時間 (8教材×1時間) ③「随想」2単元 4時間 (4教材×1時間) ④「小説」3単元 6時間 (6教材×1時間) ⑤「詩」単元 4時間 ⑥「短歌と俳句」単元 3時間 計 45時間

<p>●表現編</p> <p>①「表現への招待」</p> <p>②「表現1」 スピーチをする</p> <p>③「表現2」 手紙を書く</p> <p>④「表現3」 調べてレポートにまとめる</p> <p>⑤「表現4」 プレゼンテーションをする</p> <p>⑥「表現5」 意見文を書く</p> <p>⑦「表現6」 ディベートをする</p> <p>⑧「表現7」 創作して話し合う</p> <p>⑨「表現8」 統計資料を参考に書く</p> <p>⑩「表現9」 読書会をする</p>	<p>●「A 話すこと・聞くこと」</p> <p>(1)のア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>(1)のイ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>(1)のウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>(1)のエ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>●「B 書くこと」</p> <p>(1)のア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>(1)のイ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>(1)のウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>(1)のエ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>●「C 読むこと」</p> <p>(1)のイ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>(1)のオ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p> <p>●【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>(1)のイの(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>「表現への招待」 ・234～237頁</p> <p>「表現1」 ・238～239頁</p> <p>「表現6」 ・256～257頁</p> <p>「表現7」 ・258～259頁</p> <p>「表現9」 ・262～266頁</p> <p>「表現1」 ・238～239頁</p> <p>「表現4」 ・248～251頁</p> <p>「表現6」 ・256～257頁</p> <p>「表現9」 ・262～266頁</p> <p>「表現1」 ・238～239頁</p> <p>「表現7」 ・258～259頁</p> <p>「表現9」 ・262～266頁</p> <p>「表現2」 ・240～243頁</p> <p>「表現3」 ・244～247頁</p> <p>「表現5」 ・252～255頁</p> <p>「表現8」 ・260～261頁</p> <p>「表現9」 ・262～266頁</p> <p>「表現7」 ・258～259頁</p> <p>「表現9」 ・262～266頁</p> <p>「表現8」 ・260～261頁</p> <p>表現編の各項目 ・234～266頁</p> <p>表現編の各項目 ・234～266頁</p>	<p>①「表現への招待」 4時間</p> <p>②「表現1」 3時間</p> <p>③「表現2」 4時間</p> <p>④「表現3」 6時間</p> <p>⑤「表現4」 6時間</p> <p>⑥「表現5」 5時間</p> <p>⑦「表現6」 3時間</p> <p>⑧「表現7」 3時間</p> <p>⑨「表現8」 5時間</p> <p>⑩「表現9」 6時間</p> <p>計 45時間</p>
<p>●古文編</p> <p>①古文編導入文</p> <p>②5単元(28教材)</p> <p>1 古文入門</p> <p>2 随筆と日記</p> <p>3 物語と軍記</p> <p>4 和歌と俳諧</p> <p>5 翻案</p> <p>③「文法の基礎」1～3</p> <p>④「文法の要点」1～4</p>	<p>●「C 読むこと」</p> <p>(1)のウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>●【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>(1)のアの(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(1)のアの(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>	<p>「随筆と日記」単元 ・30～45頁</p> <p>「物語と軍記」単元 ・48～73頁</p> <p>古文編導入文 古文編の各教材 犬養孝「言霊」 コラム1～6 ・8～106頁</p> <p>「文法の基礎」 ・13～15頁 ・20～21頁 ・27頁</p> <p>「文法の要点」 ・107～114頁</p>	<p>①古文編導入文 1時間</p> <p>②5単元(28教材) 2.5時間 (5時間×5単元)</p> <p>③「文法の基礎」 1～3 1時間</p> <p>④「文法の要点」 1～4 1時間</p>

<p>⑤犬養孝「言霊」</p> <p>⑥コラム1～6</p>	<p>(1) のイの(ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(1) のイの(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>「文法の基礎」 ・13～15頁 ・20～21頁 ・27頁</p> <p>「文法の要点」 ・107～114頁</p> <p>古文編の各教材 ・10～106頁</p>	<p>⑤犬養孝「言霊」 1時間</p> <p>⑥コラム1～8 1時間</p> <p>計 30時間</p>
<p>●漢文編</p> <p>①漢文編導入文</p> <p>②4単元(30教材)</p> <p>1 漢文入門 2 史伝 3 詩文 4 思想</p> <p>③「漢文の基礎」</p> <p>④「漢文の要点」1・2</p> <p>⑤松浦友久「友情」</p> <p>⑥コラム7・8</p>	<p>●「C 読むこと」</p> <p>(1) のウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>●【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>(1) のアの(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(1) のアの(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>(1) のイの(ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(1) のイの(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>「故事成語」 ・126～136頁 「史伝」 ・140～150頁 「文章」 ・162～165頁</p> <p>漢文導入文 漢文編の各教材 松浦友久「友情」 コラム7・8 ・116～183頁</p> <p>「漢文の基礎」 ・117～125頁 「漢文の要点」 ・180～183頁</p> <p>「漢文の要点」 ・180～183頁</p> <p>漢文編の各教材 ・117～183頁</p>	<p>①漢文編導入文 1時間</p> <p>②4単元(28教材) 16時間 (4時間×4単元)</p> <p>③・④ 「漢文の基礎」 「漢文の要点」 1時間</p> <p>⑤松浦友久「友情」 1時間</p> <p>⑥コラム7・8 1時間</p> <p>計 20時間</p>
計			140時間